

先の3件の課題は、超微形態研究からかけ離れていると感じるかもしれませんが、微生物、医動物、プランクトンなども含む、微小生物の探求も、バイオミメティクス研究も、電子顕微鏡が得意とする分野です。これらをご専門とする会員の皆様以外でも、新たに関心を寄せて頂ける可能性があると考えます。

なお、ご応募頂いた研究課題は、技術普及委員会にて審査し、成果につきまして本学会 学術講演会で発表、学会誌への投稿にて報告をお願いします。

奮ってご応募下さいますよう、お待ちしております。

募集テーマ

『近年、話題となる題材と超微形態解析を結びつける！

& 技術の啓蒙活動に供する教育指導教材作りの開発』

選択課題（以下4件から1件を選択）

I. マイクロバイオーム解析（様々な微小生物）と超微形態研究の関わり

II. バイオミメティクスと超微細形態研究との関わり

III. 循環型社会の維持貢献（ネイチャーテクノロジー）と超微形態研究の関わり

IV. 電子顕微鏡技術の継承に必要な教育教材の開発研究（対象は、専門家対象でも社会貢献対象でも何れも可。）

1. 募集件数および助成総額 : 5件以内。総額上限30万円以内。

2. 募集期間 : 2022年8月1日～11月11日（必着）

3. 助成対象期間 : 2022年8月1日～2023年3月31日。

4. 申請資格

①本学会正会員（単独、共同）、あるいは正会員と非会員（研究者、技術者）共同研究。

②正会員は、過去の本学会学術講演会で発表履歴があること。

5. 助成対象の費目

試料作製、観察等の材料費、解析に要するアプリケーションソフト購入費等が対象。

6. 助成対象者の義務

成果を本学会主催の学術講演会で発表して戴くこと。学会誌へ投稿して頂くこと。

7. 助成の決定方法と基準

①技術普及委員会において書類審査を行い候補者を選考する。